

小千谷市人権教育・啓発推進計画(案) パブリックコメント実施結果

1 パブリックコメント実施状況

- (1) 募集期間 平成31年1月10日(木)～2月8日(金)の30日間
 (2) 募集結果 提出件数(人数) : 6件(2人)

2 意見等の概要と意見等に対する考え方

No.	対象箇所	意見等の概要	意見等に対する考え方	計画(案)修正の有無
1	(ページ指定なし)	被差別部落出身ということで不利益を受けたり、命を落とすような事があってはならないので、人権教育・啓発の推進に本気で取り組んで頂きたいと思ます。	31ページの「5 同和問題」における「(2)今後の取組」に記載のとおり、さまざまな場を通じ、市民に対し同和教育・啓発を進めていきます。	無
2	15ページ 今後の取組・相談窓口	相談員や担当者としてしっかり専門性のある人の配置や育成、役割の明確化をお願いしたい。	15ページの「5 相談体制の充実」の「(2)今後の取組」に記載のとおり、相談員や職員等の知識を高めていくよう取り組みます。	無
3	42ページ 庁内体制の整備	しっかり市全職員の人権同和研修を行ってほしい。	14ページの「4 市職員に対する人権教育の推進」の「(2)今後の取組」に記載のとおり、すべての職員を対象とした研修を実施し、職員の人権意識の向上に努めます。	無
4	42ページ 関係機関との連携	議会・町内会長・民生児童委員等、特別に人権に精通していなければならない地域リーダーへの意識啓発研修を行ってほしい。具体的な地域リーダーへの啓発研修実施計画を作成してほしい。	11ページからの「第3章 さまざまな場における人権教育・啓発の推進」の12ページ「2 家庭や地域における人権啓発の推進」の「(2)今後の取組」に記載のとおり、地域においても人権啓発に取り組んでいきます。なお、「地域リーダーへの啓発研修実施計画」については、計画に記載はしませんが、作成について検討課題としていきます。	無
5	42ページ 計画の評価と見直し	「小千谷市人権教育・啓発推進懇談会」をしっかり機能させてほしい。この懇談会にしっかり市民の各関係者・当事者を入れて、意見を踏まえて、活かして、進めることが必要。	計画に記載のとおり進めていきます。	無
6	43ページ 数値目標：身元調査は仕方ない 現状値56.1%⇒目標値45%	45%の市民が「ある程度仕方ない。当然のこと。」と考えても仕方ないのか。高すぎる数値だ。もっと低くする目標にすべき。	30ページに掲載しておりますが、県が2018(平成30)年度に実施した調査も49.1%という結果であり、その数値を参考に設定しており、打倒な目標値と考えております。	無